

響け！復興輪太鼓 (P. 38～P. 39)

ね ら い

震災を乗り越えて生きる人たちの生き方とおして、人間として夢や希望など喜びのある生き方を見いだそうとする道徳的実践意欲を育てる。

展 開 例

| 学習活動 | 主な発問と生徒の反応（留意点） |
|--|--|
| <p>1 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 石巻市立雄勝中学校の概要、東日本大震災時の被害について知る。 <p>2 展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 「響け！復興輪太鼓」を読む。 新しい上靴を履いたぼくたちは、どう思ったのか考える。 自分たちの演奏を聴いて、涙を流している地域の人を見て、ぼくたちはどう思ったのかを考える。 校舎に向かって演奏をし、どこまでも真っ直ぐ前を見つめているぼくたちの気持ちを考える。 <p>3 終末</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎に向かって太鼓を叩くぼくたちの心の中に浮かんだ出来事の部分（P.39 14行目）を黙読する。 | <p>・被害の状況をおして、雄勝中学校の生徒たちが、生死の境を生き延びた状況を知らせる。</p> <p>【雄勝町の状況】</p> <p>町民約 4300 人の高齢化が進む町、震災での死者・行方不明者約 300 人。生徒全員の家が流された。</p> <p>自分たちの足のサイズにぴったりの上靴を履いたとき、ぼくたちは、どんなことを思っているでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波で全てを失ったぼくたちのために用意してくれた先生に感謝したい。 新しい気持ちでがんばっていこう。 <p>8月20日の教育夏祭りの演奏後、鳴りやまない拍手と涙に包まれて、ぼくたちはどんなことを思っているでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 太鼓を叩くことで、生きている喜びを実感できる。 地域の人たちもぼくたちと一緒に辛かったんだ。 ぼくたちの演奏を、地域の人たちは喜んでくれた。 これからもみんなのために太鼓を叩き続けよう。 <p>どこまでも真っすぐ前を見つめていたぼくたちは、どんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 必死になって生き残った。辛いことも乗り越えて生きていく。 太鼓がぼくたちと地域の人たちの心の支えになった。ぼくたちは強く生きていく。 津波を思い出すと辛い。だけど、希望を持って生きていく。 太鼓を叩きながらこれまでのことが思い出された。これからも苦労することはいっぱいあるけれど、仲間と一緒に強く生きていく。 <p>・黙読により、余韻を持たせて授業を終わる。</p> <p>・授業後の生徒の表情等の観察により、ねらいの達成状況を推測する。</p> |

教科等との関連

道徳 3 - (3)

人間としての弱さや醜さを克服する強さ気高さがあることを信じて、人間として生きることに喜びを見いだすように努める。